

最優秀賞



猫の追体験

阿部有希さん(大分大学)



都市の発展のために多くの道路や線路が高架化されてきたが、一方でその下のスペースは暗く狭いため、多くが駐車場としての利用、また高架下空間の上部

はデッドスペースとなっている。

今回計画地に選んだ別府市に位置する別府駅北高架下も、かつては別府駅から北高架商店街まで続いていたが、現在は大型家電量販店の出店に伴い、一部が駐車場に変わったことで商店街の連続性が途切れ、駅の南側に比べて人通りも少なくなってしまった。

この課題を解決するために、私は別府市内でよく見かける猫に着目した。皆さんも思いがけず猫の跡を追って行き、知らない場所を発見したという経験はないだろうか。猫は暗く狭い場所を好み、上下移動をするという、人とは異なった習性がある。

そこで、猫の視点で高架下空間を再考することにより、今まで活用しづらい空間とされてきた高架下空間を、有効に活用する新たな提案ができるのではないかと考えた。

大分大学 阿部有希さん